

「国語・算数」（かずことば）学習指導案

1. 日時 平成25年9月

2. 場所 教室

3. 学部・学年・組 小学部 第2、3学年

4. 単元名 「くれよんのくろくん」

5. 単元目標

- ・物語のあらすじをつかみ、話の展開や登場人物の言動に期待や興味を持って聞くことができる。
- ・色の名称を知り、具体物と一致させながらイメージを持つことができる。
- ・簡単な色塗りや描くことの活動を通して、色や形に関心を持ち、主体的に書く（描く）活動を楽しむ。

6. 児童観 略

7. 教材観

今回「くれよんのくろくん」の絵本を教材に選んだのは、図工の授業等で、箱に入ったクレヨンを使用する機会は多くイメージしやすいこと、ストーリーが複雑でなく、絵本を通して「色の学習」を展開しやすいこと、友だちを思いやる仲間意識が盛り込まれていること等が主なポイントである。

8. 指導観

同じ絵本を教材として使用しても、児童の実態に応じた目標を設定するため、全体での授業展開に加え、個々の児童に沿った教材の準備をしながら、目標を達成するために児童の興味が持続しやすい学習活動を設定できるよう工夫していきたい。

9. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none">・集中して最後まで話を聞くことができる。・新しい言葉に興味を持ち意味を理解しようとする。	<ul style="list-style-type: none">・登場人物の動作や言葉を理解して表現することができる。	<ul style="list-style-type: none">・枠を意識してはみ出さないように気をつけながら色を塗ることができる。・見本の絵を模倣して○、□の形を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none">・色の名称を覚えて正確に答えることができる。・具体物と色の名称を一致させて答えることができる。

10. 単元の指導と評価の計画（全6時間）

次	時	学習内容	評価規準			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
第一次	3	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の前半部分を聞く。 ・色の名前を学習し、一致する野菜などの具体物を触ったり味わったりする。 ・クレヨンを使った色塗り（色を指定）に取り組む。 	○			○
第二次	3	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を通して聞く。 ・自分たちで物語の一部の動きを再現する。 ・色の名前を学習し、具体物を触ったり、観察したりする。 ・簡単な絵（顔、電車）の見本を見ながら描く。 		○	○	

(1) 本時の目標

- ・登場人物の動きや言葉を表現することができる。
- ・紫色について具体的なイメージを持つことができる。
- ・○と□の違いを意識しながら書くことができる。

(2) 本時の評価規準

- ・話のあらすじを理解して、登場人物の動きや言葉を表現することができる。
- ・自分たちで育てている朝顔の花を観察し、紫色について知ることができる。
- ・電車の絵の簡単な描き方を知り、○と□を書くことができる。

(3) 本時で扱う教材・教具

使用図書は、絵本「くれよんのくろくん」、クレヨンセット、プリント、筆記用具、朝顔、ビニール袋、水の入ったペットボトル

(4) 児童の実態と本時の目標 略

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援のたて等	評価規準・評価方法
10分 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・詩の暗唱「きもち」 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を確認し、指導者に注目していることを確認して、授業を開始する。 ・相手に聞き取りやすい明瞭な声で暗唱するように説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で挨拶、暗唱ができる。
30分 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本「くれよんのくろくん」のお話を聞く。 ・花、葉、木、空、地面、等の登場人物の色を再確認する。 ・教室前で育てている朝顔を使って色水を作る。 ・作った色水の名前(紫)を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童Aには個別にペンを用意し、T2とともに話の筋に合わせて机をトントン叩く。 ・「きみどり」と「みどり」の色の違いを丁寧に説明する。 ・児童が興味を持ちやすいよう、児童が朝顔について知っていることを聞き出し、実際に触ったり匂いをかいで言葉で表現してみるよう促す。 ・白い不織布に作った色水で模様をつけてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本に集中し、しっかりと聴くことができる。 ・前回学習した新しい言葉の意味を理解できている。 ・色の違いを理解する。 ・朝顔の感触や匂いを言葉で表現できる。 ・色水を作る工程に興味を持って知り、自分でもやってみようとする。 ・紫色を知る。
10分 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・個別にプリント学習を行う。電車の絵を見本を見ながら描く。 ・今日の学習を振り返る。 ・終わりの挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・○と□の違いを意識しながら書けるよう手本を見せる。児童Aには立体の枠を用意して、それをガイドに○と□を書くよう支援する。 ・児童が学習の中で気付いたことを取り上げ褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見本を見ながら描くことができる。 ・○と□の違いを意識しながら書く。 ・大きな声で前を向いて挨拶する。

(6) 教室配置等

略